

公開選考会用発表資料 2023年7月28日



団体の紹介

私たち SB.HeartStationは、 日本の子どもたちが履かなくなっ た靴、着なくなった衣類、使わな くなった文房具などを、諸外国の 子どもたちに寄贈し、子どもたち の健全育成を支援しています。



団体の紹介

□ 団体の目的:国際協力、子どもの健全育成を図る活動

2 これまでの成果:フィリピン、ミャンマー、ベトナム、タイの

子どもたちへ332,810点の品物を寄贈。

3 これからの課題:長期的な活動資金の確保

子どもたちに直接靴を手渡しする手渡しツアー

2023.3月 フィリピン







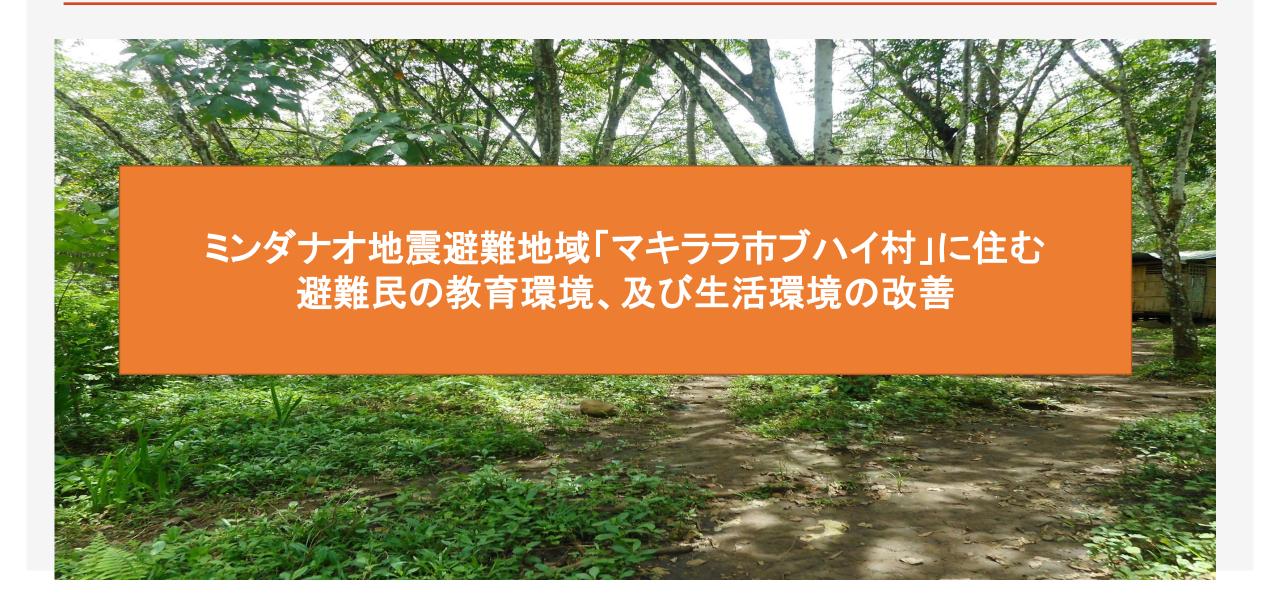








活動事業の概要



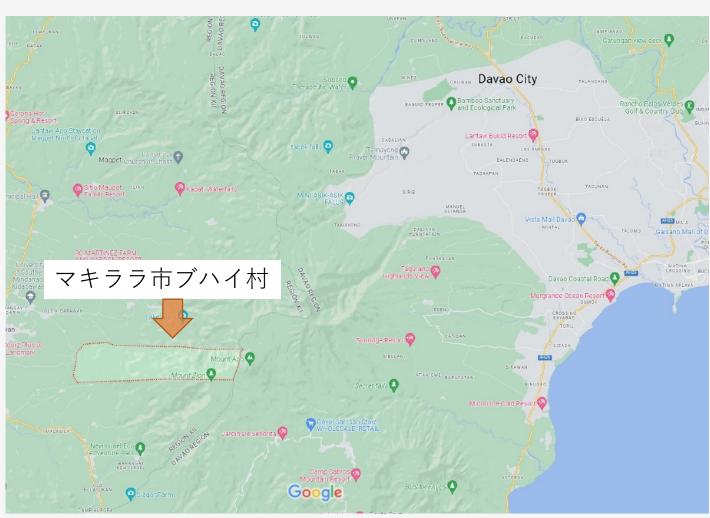
対象地域

対象国:フィリピン

地域:ミンダナオ島

マキララ市ブハイ村





活動事業の趣旨と概要

靴・衣類・文房具の支援

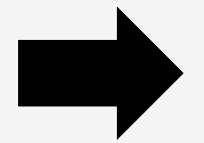
絵本の読み聞かせ スポーツイベントの実施

靴・衣類・文房具の支援



日本の子どもたちが 使わなくなった 靴・衣類・文房具を贈る

支援



靴がなくて学校に行けない。 着ていく服もない・・・





絵本の読み聞かせ





スポーツイベント

- ・セパタクロー
- ・バレーボール
- ・バドミントン







活動の背景

地震による避難民は、1500人~2000人いるといわれている。 平均世帯所得は国際貧困ラインの水準以下。







活動の背景

粗末な家で暮らし、お米を買うお金もない。過酷な環境の中で、避難民は必死に生活している。







ニーズへの適合

震災から3年。未だに行政からの支援の目途はたっていない。 長引く避難生活で、靴や衣類、文房具を買えず、通学を諦めざるを得ない子どもたちも多い。



自立性•主体性



絵本読み聞かせ、スポーツイベントを 中心となって行うのは、現地協力団体MCLが 支援している奨学生から選任。





自立性•主体性

奨学生たちも紛争経験、貧困等の困難を抱え、普段は支援を受けている。



持続性•将来性

絵本に触れたことのない子どもたち。 読み聞かせも初めての体験。



持続性•将来性

山間部の僻村は行政の支援が届きづらい。



SDGsへの適合









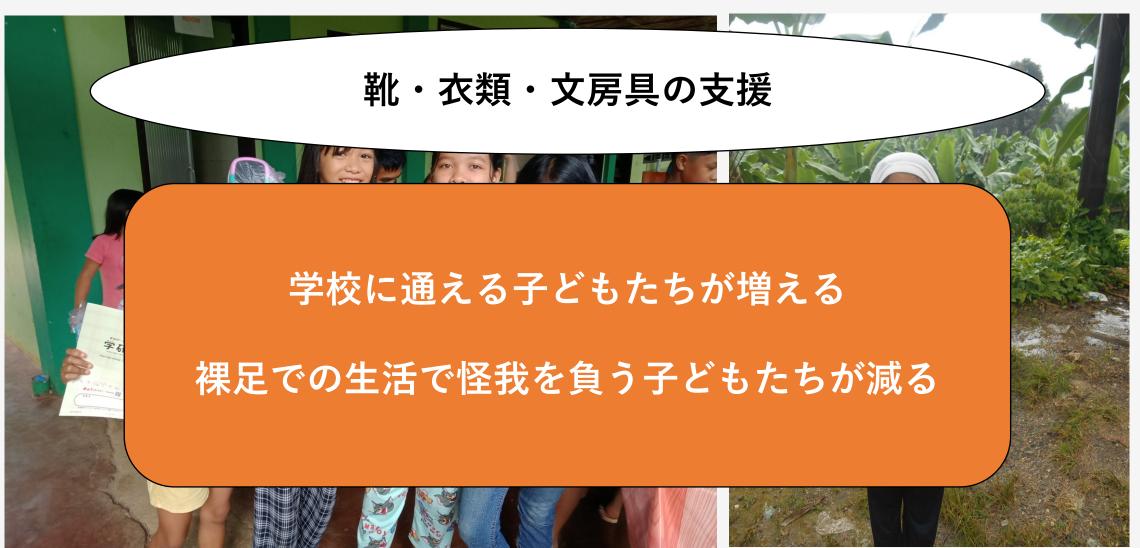


SDGsへの適合









SDGsへの適合





日本の子どもたちが身近なもので 自主的に参加できる

ボランティア活動を通じて国際協力の芽を育む

物を大切に扱う意識が高まる

スケジュール 2023年度

4月~6月:日本国内の子どもたちから支援用の物資を集める

7月~9月:集めた物資を箱詰めしミンダナオ島に輸送する

10月~12月:支援物資の提供と読み聞かせ、スポーツイベントの実施

1月~3月:支援物資の提供と読み聞かせ、スポーツイベントの実施、支援結果の振り返り

活動費用



■滞在費 ■報酬

■保険料

■賃借料

■消耗品費

■诵信運搬費

■交诵費 ■渡航費

交通費:ボランティアレンタカー代 空港往復運賃(1名分) ミンダナオ島内移動費等

渡航費:ダバオ行き航空券(1名分)

滞在費:キダパワン宿泊代(1名分)

報酬:ボランティア活動者への報酬

QUOカード500円

保険料:ボランティア保険

賃借料:倉庫・コンテナ場所代

消耗品費:ダンボール

通信運搬費:ミンダナオ島/小口輸送

不足分は自己資金で対応

認定特定非営利活動法人 SB.Heart Station

ご清聴ありがとうございました。







